



# 東柏ケ谷小学校 グランドデザイン① (令和5年度～令和7年度)



## 学校経営の基本

※赤文字は令和6年度見直しによる



### 「こころ」をひろげ、未来に生きる力を育む

スローガン① 50周年 スローガン

笑顔あふれる明るい学校

校長 奥田 五成  
教頭 町田 誠祐  
教職員 25名(本務者)

児童数 376名  
4月1日現在

#### めざす学校の姿

- やさしい、笑顔あふれる学校
- 人と人がつながり、心通い合う学校
- 安心・安全で居心地のよい学校
- 地域から愛され、信頼される「みんなの学校」



スローガン②

やさしいこころをひろげよう

#### 育てたい子どもの姿

- いきいきと活動に取り組む子
- 学びの楽しさを見いだす子
- 友だちのよさを認め、関わる子
- 学校や友だちに貢献できる子

やる気 本気 根気 思いやり

自己肯定感

主体的な学び

多様性の尊重

生きて働く力

スローガン③

地域に愛着を持ち、主体的に行動できる児童

#### 支える教師の姿

- 子どもを愛し、自覚と自律心を高める教師
- 学び・育ちに情熱を持って向き合える教師
- 思いに寄り添い、一人ひとりを大切にできる教師
- 豊かさを持ち、信頼される教師

学び続ける 組織への貢献 メンターケア OJT

### 重点となる取組

#### A 特色ある学校づくり(教育課程・地域連携) ★生きる力

- 魅力ある教育課程の編成
  - 社会に開かれた教育課程(カリキュラムマネジメント)
  - コミュニティ・スクールの充実(CSルームの活用)
  - 50周年事業の推進(メモリアルコーナー等)
- 【手立て】
- ◎ 持続可能な教育課程の編成
  - ◎ 社会状況の変化への対応
    - ・9年間を見据えた学びの連続性
  - ◎ 地域学校協働活動の推進
    - ・「みんなの学校」構想・キャリア教育の推進
    - ・中学校区におけるコミスク推進



#### B 校内研究・研修(道徳教育・授業改善・ICT) ★まなび

- 学力向上と学び方の改善
  - 確かな指導力と授業改善(校内研究2年目 国語科を通して)
  - 個別最適な学びと協働的な学びの融合
- 【手立て】
- ◎ 道徳教育の推進
  - ◎ 校内研究への挑戦
    - ・確かな知識・技能の習得(語り合いを通して)
    - ・学び合い活動の充実(協働的な学び)
  - ◎ チームGIGA編成
    - ・ICTの効果的な活用(タブレット:授業支援ソフトの活用)
    - ・教育の情報化(個別最適な学び)



#### C 児童理解・支援教育(学級経営・登校支援) ★こころ

- 多様性尊重と包摂性 ● 豊かな人間性と他者意識
  - 自己実現に向けた自尊感情の保持
  - 誰ひとり取りこぼさない学びの場
  - 子ども活動の充実
  - 人権尊重教育
- 【手立て】
- ◎ 学級経営マネジメント研究
    - ・自己有用感・効力感向上への取組
    - ・人間関係づくり(YPを基盤として)
  - ◎ 支援教育の充実
    - ・えびなっこ支援シート活用
    - ・インクルーシブ教育推進(校内の取り組みの共有化)
  - ◎ ひとりひとりにあわせた学びの場づくり(居場所・学び支援)
    - ・リソースルーム設置と運用(誰ひとり取りこぼさない仕組み)
    - ・ひとりひとりにあわせた学びの場・学び方



#### D 健康・安全・体育(安全衛生・健康教育) ★いのち・からだ

- 健康課題とメンタルヘルス(こころ)への対応
  - 居心地よい学校環境整備
  - 安全教育(防犯・防災・災害)の充実
- 【手立て】
- ◎ 衛生環境面と健康的な学校生活
    - ・ガイドライン変更に準拠した学校生活
  - ◎ こころからだづくりと健康教育
    - ・基本的な生活習慣の見直し
    - ・居心地のよい学校づくり
    - ・心と体の健康教育
  - ◎ 安全教育の充実(防災教育の充実)
  - ◎ 健康教育の充実(学校体育含:冠事業としての運動会)
  - ◎ 食育推進



### 学校経営への願い

- チーム学校
- 全教職員が、一丸となり、よりよい学校づくりに参画
- ひとりひとりに寄り添い、丁寧な対応、必要な指導、適切な支援
- 子どもを主役に、満足感・達成感のある学校教育活動の演出
- 将来を見据えた、学び・育ちの風景づくり(環境調整)

チーム学校 子ども支援 保護者支援 誇れる学校 開かれた学校

